

立命館大学大学院理工学研究科
「教員育成に対する理念および認定課程設置の趣旨等」

1. 理工学研究科基礎理工学専攻（中専免（数学、理科）、高専免（数学、理科））

（1）教員養成に対する理念

理工学研究科基礎理工学専攻では、理工系諸学問の基盤をなすのみならず、文社系学問においても豊かな概念装置を提供する、普遍性の高い学問分野である数学の諸領域における深い専門知識をもち、それを基礎とした「授業力（確かな学力のもと、深い授業観を持ち、授業を遂行する）、児童生徒理解力（児童生徒を理解し児童生徒と適切に関わる）、コミュニケーション力（学校における多様なコミュニケーションを行う）、マネジメント力（学校における各種マネジメントを行う）、教師としての自己形成力（教職に関する深い知識や倫理を身につける）、学び続ける力（学校教育をめぐる問題を解決するために学び続ける）」という、6つの力を持った教員を養成することを目指している。

物理学は自然科学の根幹であり、現代のあらゆる科学技術の基礎を支える重要な学問分野と位置付けられる。理工学研究科基礎理工学専攻においては、専修免許にふさわしい自然科学の高度な専門知識から先端研究の現状に至るまでの十分な知的基盤を有し、生徒の科学的なものの見方や論理的思考力を伸ばすことができる教員を養成することをその基本理念とする。更には、理科離れが問題視されている我が国の昨今の状況を鑑み、生徒の知的好奇心を涵養し、将来高度な専門職・研究職を志向するより多くの生徒を育てることのできる教員を養成することを目指している。

（2）認定課程の設置の趣旨

●中学校教諭専修免許状（数学）

現代文明の基盤をなす数学への関心を形成する中学数学教育の重要性は大きく、また、中学における数学の学習は、生徒が知的に目覚める際の重要な契機となっており、中学における質が高く生徒の知的好奇心をそそる数学教育は日本の発展に直結する。基礎理工学専攻では、物理科学とともに、数理科学の多様な領域における教育と研究を行うために設置されている。したがって、基礎理工学専攻では、数学の諸分野における専門的知識と専門分野における研究活動の経験を有し、その知見をもとに中学における数学教材の開発を指導できるとともに、6つの力、すなわち、授業力（確かな学力のもと、深い授業観を持ち、授業を遂行する）、児童生徒理解力（児童生徒を理解し児童生徒と適切に関わる）、コミュニケーション力（学校における多様なコミュニケーションを行う）、マネジメント力（学校における各種マネジメントを行う）、教師としての自己形成力（教職に関する深い知識や倫理を身につける）、学び続ける力（学校教育をめぐる問題を解決するために学び続ける）を、後の世代に確かな形で伝えていくことのできる教員を養成することが可能となっている。

以上の理由により、本専攻に中学校教諭専修免許状（数学）の取得が可能な教職課程を設置する。

●高等学校教諭専修免許状（数学）

現代文明の基盤をなす数学に馴染む素地を形成する高校数学教育の重要性は大きく、また、高校数学教育は生徒の知的成長全般において重要な役割を果たしており、高校における質の高い数学教育は日本の大きな発展に直結する。基礎理工学専攻では、物理科学とともに、数理科

学の多様な領域における教育と研究を行うために設置されている。したがって、基礎理工学専攻では、数学の諸分野における専門的知識と専門分野における研究活動の経験を有し、その知見をもとに高校において数学教材の開発を指導できるとともに、6つの力、すなわち、授業力（確かな学力のもと、深い授業観を持ち、授業を遂行する）、児童生徒理解力（児童生徒を理解し児童生徒と適切に関わる）、コミュニケーション力（学校における多様なコミュニケーションを行う）、マネジメント力（学校における各種マネジメントを行う）、教師としての自己形成力（教職に関する深い知識や倫理を身につける）、学び続ける力（学校教育をめぐる問題を解決するために学び続ける）を、後の世代に確かな形で伝えていくことのできる教員を養成することが可能となっている。

以上の理由により、本専攻に高等学校教諭専修免許状（数学）の取得が可能な教職課程を設置する。

●中学校教諭専修免許状（理科）

物理学はすべての自然科学・科学技術の根幹をなすと同時に、科学的にものごとを考える力を養う重要な学問分野である。中学の理科教育においては、単に知識を伝えるに留まらず、実験や観察を通して生活の中で体験する自然現象を科学的に理解しようとする精神を養い、ものごとを論理的・客観的に判断する力を養う教育が最も重要であると考え。理工学研究科基礎理工学専攻においては、物理の考え方を身に付けるとともに、先端研究を行う幅広い専門分野で活躍できる人材を育成することを教育の理念とし、物理学における高度な専門教育および研究指導を実践している。従って、高度な専門知識を有し、より高い視点から科学の魅力や楽しさを発信することができる中学校教諭を養成することが可能となっている。

以上の理由により、本専攻に中学校教諭専修免許状（理科）の取得が可能な教職課程を設置する。

●高等学校教諭専修免許状（理科）

物理学はすべての自然科学・科学技術の根幹をなすと同時に、科学的にものごとを考える力を養う重要な学問分野である。高等学校の理科教育においては、正しい自然科学の知識を養うと同時に、我々の生活を支える科学技術とどのように結びついているかという点を理解させることが重要となる。理工学研究科基礎理工学専攻においては、物理の考え方を養うとともに、先端研究を行う幅広い専門分野で活躍できる人材を育成することを教育の理念としている。その精神のもと、基礎的な理論物理学から科学技術への応用も視野に入れた先端研究、更には地震大国である我が国において重要な意味を持つ地球物理学の分野に至るまで、幅広い高度な専門教育・研究指導を実践している。従って、豊富な専門知識を有し、将来高度な専門職・研究職を志向するより多くの生徒を育てることのできる高等学校教諭を養成することが可能となっている。

以上の理由により、本専攻に高等学校教諭専修免許状（理科）の取得が可能な教職課程を設置する。

2. 理工学研究科電子システム専攻（高専免（工業））

（1）教員養成に対する理念

理工学研究科電子システム専攻では、毎日の生活を支えているエレクトロニクス、光工学と電子工学が互いに連携して発展している電気電子工学の領域において、深い専門知識を持ち、

あるいは、電気電子工学を基礎とし、それを側面から支えるソフトウェアなどの情報科学に深い知識をもち、それを基礎とした授業力（確かな学力のもと、深い授業観を持ち、授業を遂行する）、児童生徒理解力（児童生徒を理解し児童生徒と適切に関わる）、コミュニケーション力（学校における多様なコミュニケーションを行う）、マネジメント力（学校における各種マネジメントを行う）、教師としての自己形成力（教職に関する深い知識や倫理を身につける）、学び続ける力（学校教育をめぐる問題を解決するために学び続ける）という、6つの力を持った教員を養成することを目指している。

（2）認定課程の設置の趣旨

●高等学校教諭専修免許状（工業）

エレクトロニクスは私たちの毎日の生活を支えている。現代における多岐に渡る電気電子工学や光工学と電子工学が互いに深く連携した融合分野は非常に重要な分野となっている。これらの電気電子・光に関連する広範囲の分野に対応した教育と研究を行うために、電子システム専攻が設置されている。したがって、電子システム専攻では、このような高度な光工学と電子工学の専門知識に関する知識を有し、さらにその知識をもとに6つの力、すなわち、授業力（確かな学力のもと、深い授業観を持ち、授業を遂行する）、児童生徒理解力（児童生徒を理解し児童生徒と適切に関わる）、コミュニケーション力（学校における多様なコミュニケーションを行う）、マネジメント力（学校における各種マネジメントを行う）、教師としての自己形成力（教職に関する深い知識や倫理を身につける）、学び続ける力（学校教育をめぐる問題を解決するために学び続ける）を、後の世代に確かな形で伝えていくことのできる教員を養成することが可能となっている。

以上の理由により、本専攻に工業科の高等学校教諭専修免許状の取得が可能な教職課程を設置する。

3. 理工学研究科機械システム専攻（高専免（工業））

（1）教員養成に対する理念

理工学研究科機械システム専攻では、材料開発から設計、加工・生産、運転・保守までの一連のシステムから構成された「もの作り」の根底的に支える機械工学、ロボティクス、マイクロ機械工学さらには、それを含む融合分野に関する深い知識をもち、それを基礎とした授業力（確かな学力のもと、深い授業観を持ち、授業を遂行する）、児童生徒理解力（児童生徒を理解し児童生徒と適切に関わる）、コミュニケーション力（学校における多様なコミュニケーションを行う）、マネジメント力（学校における各種マネジメントを行う）、教師としての自己形成力（教職に関する深い知識や倫理を身につける）、学び続ける力（学校教育をめぐる問題を解決するために学び続ける）という、6つの力を持った教員を養成することを目指している。

（2）認定課程の設置の趣旨

●高等学校教諭専修免許状（工業）

理工学研究科機械システム専攻は、理工学部機械工学科およびロボティクス学科での教育を基礎として、それらを発展させるために設置される専攻である。

材料開発から設計、加工・生産、運転・保守までの一連のもの作りシステムを支える機械工学、さらには、巨大な宇宙構造物からナノスケールの製品までを対象とし、旧来の機械工学に収まらない新たな学問分野に関して、教育・研究を行うために、機械システム専攻は設置されてい

る。したがって、機械システム専攻では、このような高度な機械工学・ロボティクス・マイクロ機械の専門知識を有し、さらにその知識をもとに、6つの力、すなわち、授業力（確かな学力のもと、深い授業観を持ち、授業を遂行する）、児童生徒理解力（児童生徒を理解し児童生徒と適切に関わる）、コミュニケーション力（学校における多様なコミュニケーションを行う）、マネジメント力（学校における各種マネジメントを行う）、教師としての自己形成力（教職に関する深い知識や倫理を身につける）、学び続ける力（学校教育をめぐる問題を解決するために学び続ける）を、後の世代に確かな形で伝えていくことのできる教員を養成することが可能となっている。

以上の理由により、本専攻に工業科の高等学校教諭専修免許状の取得が可能な教職課程を設置する。

4. 理工学研究科環境都市専攻（高専免（工業））

（1）教員養成に対する理念

理工学研究科環境都市専攻では、人々が安全な社会生活を送るために必要な都市の社会基盤の整備、地球環境問題の解決をはじめ、未来の世代も含めた一人ひとりが安全で豊かな生活を送るための活動空間の創造、などに不可欠な専門知識を持ち、それを基礎とした授業力（確かな学力のもと、深い授業観を持ち、授業を遂行する）、児童生徒理解力（児童生徒を理解し児童生徒と適切に関わる）、コミュニケーション力（学校における多様なコミュニケーションを行う）、マネジメント力（学校における各種マネジメントを行う）、教師としての自己形成力（教職に関する深い知識や倫理を身につける）、学び続ける力（学校教育をめぐる問題を解決するために学び続ける）という、6つの力を持った教員を養成することを目指している。

（2）認定課程の設置の趣旨

●高等学校教諭専修免許状（工業）

理工学研究科環境都市専攻は、理工学部都市システム工学科、環境システム工学科、建築都市デザイン学科での教育を基礎として、それを発展させるために設置される専攻である。都市のインフラストラクチャー（社会基盤）の整備、地球環境問題の解決をはじめ、未来の世代も含めた一人ひとりが安全で豊かな生活を送るための活動空間を創造することが求められている。また、文化的な視点、あるいはバリアフリーや自然環境への配慮などといったものを求める声が強まっている。このような新しいニーズや直面する複合的な課題に 대응する人材の育成を行うために、環境都市専攻を設置する。したがって、環境都市専攻では、高度な都市防災、環境社会工学、都市建築に関する専門知識を有し、さらにその知識をもとに、6つの力、すなわち、授業力（確かな学力のもと、深い授業観を持ち、授業を遂行する）、児童生徒理解力（児童生徒を理解し児童生徒と適切に関わる）、コミュニケーション力（学校における多様なコミュニケーションを行う）、マネジメント力（学校における各種マネジメントを行う）、教師としての自己形成力（教職に関する深い知識や倫理を身につける）、学び続ける力（学校教育をめぐる問題を解決するために学び続ける）を、後の世代に確かな形で伝えていくことのできる教員を養成することが可能となっている。

以上の理由により、本専攻に工業科の高等学校教諭専修免許状の取得が可能な教職課程を設置する。

以上